



宗谷の歴史と浪漫

未来につなげたい
Soya, Wakkanai History & Roman

大正11年、宗谷線全線開通

旭川から名寄を経て稚内を経由し、JR北海道の宗谷本線。全長259.4kmの鉄路は、地方交通線としては日本最長。

大正11年(1922)11月1日、稚内駅(現南稚内駅)開業。翌大正12年(1923)5月1日、稚内駅一泊港(樺太)間に「稚泊航路」が就航し、3ヵ月後の8月2日、作家・詩人の宮沢賢治は稚内駅から鉄道連絡船に乗り樺太へと渡った。その旅で描いた心象スケッチのなご語「オホソク」が、生前唯一刊行された詩集「春と修羅」に収められた。また、のちに「春と修羅」補遺には「宗谷挽歌」、宮沢賢治全集には「宗谷(一)」、「宗谷(二)」がある。



秘境駅の宝庫、宗谷本線

稚内駅そばの小山の頂から開き別方面を見下ろす。宗谷本線には秘境駅も多い。長い歴史と風雪に耐えた木造駅舎や貨車を再利用したもの、簡素な物置が待合室であったり、短い木製ホームだけの駅などもある。現在、名寄一帯は「単独では維持が困難」な区域に含まれているが、未来に残したい景色である。



人々を波浪や強風から守り続けてきたドーム

稚内港北防波堤ドーム、平成13年(2001)北海道遺産に指定

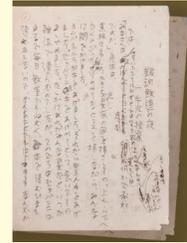
太平洋戦争が終結するまで、稚内港北防波堤ドームの前には稚内連絡船が存在し、連絡船に接続したSL急行から降りた人々は、ここから樺太を目指した。当時、函館駅-稚内港駅(現 稚内駅)間は所要約2.3時間。稚泊航路連絡船の稚内港-大泊港は約8時間。



歴史を語り継ぐ樺太記念館

稚内市樺太記念館(稚内副港市場2階)

樺太の北緯50度以南、いわゆる南樺太は、日露戦争終結後の明治38年(1905)から太平洋戦争が終わった昭和20年(1945)までの40年間、日本の領土でした。その時代の樺太にまつわる貴重な歴史資料(約2,000点)を収集・展示している稚内市樺太記念館。



「銀河鉄道の夜」原稿精密複製 明治29年(1896)8.27 一昭和8年(1933)9.21

大正12年(1923)に、『花巻-東北本線-青函連絡船-函館本線-宗谷本線-稚泊連絡船-樺太庁の樺太鉄道』を乗り継いだ宮沢賢治は、その樺太旅行から『銀河鉄道の夜』を着想したのではないだろうか。ちなみに樺太への旅の詩は、『こんなやみよののばらのなかをゆくときは客車のまどはみんな水俣館の窓になる』の書き出しから始まる。



ソウヤの語源、弁天島

北緯45度31分35秒、東経141度55分9秒

宗谷岬の北西約1.2km沖に位置する弁天島は、日本最北端の無人島(礼文島の海鐘島-トド島よりも北に位置)。アイヌ語では「海獣の止まる磯の丘」という意味。「ソウヤ」は「ソウヤ」と呼ばれていた弁天島が、宗谷の語源の一つと考えられている。



樺太を見つめる間宮林蔵

北海道がまだ蝦夷と呼ばれていた時代、宗谷から樺太に渡った間宮林蔵は、樺太が島であることを確認。その結果、世界地図に日本人として唯一「間宮海峡」の名を刻んだ。また、蝦夷全土を測量し、伊能忠敬の「大日本海嶺地全図」の北海道部分を完成させた。



宗谷丘陵から望む樺太

宗谷丘陵、平成16年(2004)北海道遺産に指定 ※樺太は真口シゲが実効支配しているサハリンのこと

モコモコとしたマダラ模様に見える宗谷丘陵は、日本最大級の周氷河地形。今から2万~1万年前に起こった地球最後の氷河期(ワルム氷期)に形成され、明治44年(1911)5月に起きた大規模な山火事などによって、儼然その美しい姿を露(あらわ)にした。火災前までは、うっそうとした森林が生い茂る巨大な丘陵であったが、長い年月の中で起きた気候変動によって森林が育つ環境ではなくなり、現在では牧草地と畑に覆われている。しかし、それが観光資源として幸いし、まるで日本ではないような独特な景観が楽しめる。

2025

こちらからカレンダー撮影に関連した動画をご覧いただけます



January 1 睦月							February 2 如月							March 3 弥生							April 4 卯月								
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT		
29	30	31	1	2	3	4	26	27	28	29	30	31	1	23	24	25	26	27	28	1	30	31	1	2	3	4	5		
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12		
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19		
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26		
26	27	28	29	30	31	1	23	24	25	26	27	28	1	23	30	24	31	25	26	27	28	29	27	28	29	30	1	2	3
May 5 皁月							June 6 水無月							July 7 文月							August 8 葉月								
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT		
27	28	29	30	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	29	30	1	2	3	4	5	27	28	29	30	31	1	2		
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9		
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16		
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23		
25	26	27	28	29	30	31	29	30	1	2	3	4	5	27	28	29	30	31	1	2	24	31	25	26	27	28	29	30	
September 9 長月							October 10 神無月							November 11 霜月							December 12 師走								
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT		
31	1	2	3	4	5	6	28	29	30	1	2	3	4	26	27	28	29	30	31	1	30	1	2	3	4	5	6		
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13		
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20		
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27		
28	29	30	1	2	3	4	26	27	28	29	30	31	1	23	30	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31	1	2	3	